

## 第8回匝瑳市子ども・子育て会議 会議概要

●日時：平成30年11月5日（月） 午後1時30分から午後2時35分

●場所：匝瑳市民ふれあいセンター 1階 第1会議室

### 1 会議次第

---

- 1 開会
- 2 委員自己紹介
- 3 議事
  - (1) 会長及び副会長の選出について
  - (2) 匝瑳市子ども・子育て支援に関するアンケート調査の実施について
  - (3) その他
- 4 閉会

### 2 出席者

---

(委員)

齋藤 光雄、井上 咲葵、江波戸 倫子、小関 和雄、深堀 俊美、熱田 寛明  
石川 浩之

(市)

事務局（福祉課） 大木 進一、鈴木 一弘  
（(株) グリーンエコ） 児玉 健

### 3 会議概要

---

#### ■ 開 会 ■

##### 【事務局】

本日は大変お忙しい中、第8回匝瑳市子ども・子育て会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

なお、江波戸里紗委員、蛭間久未委員、林朋宏委員につきましてはご欠席ということであらかじめご連絡をいただいておりますのでご報告させていただきます。

また、本日の会議につきましては、匝瑳市子ども・子育て会議条例の規定によりまして、過半数の出席がありますので会議が成立しておりますことを併せてご報告させ

ていただきます。

それでは、次第の2、委員の自己紹介をお願いしたいと思います。

(委員自己紹介)

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、議事(1)会長及び副会長の選出について、匝瑳市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により会長及び副会長は委員の互選により定めるとありますので、委員の皆様の互選によりまして会長を選出していただけると存じます。なお、会長に選出された方には匝瑳市子ども・子育て会議条例の規定により、この後、議事の議長を務めていただくこととなります。

それではお伺いいたします。会長に立候補される方、あるいは推薦される方がいらっしゃいましたらご発言をお願いいたします。

【委員】

会長は齋藤委員をお願いしたいと思います。

【事務局】

ただいま、会長に齋藤委員をお願いしたいというご意見がありました。そのほか、ご意見等ございますでしょうか。

【委員】

異議なし。

【事務局】

異議なしというご意見をいただきましたが、皆さん、ご異議ないということでしょうか。

(異議なし。)

【事務局】

それでは齋藤委員に会長になっていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

続きまして、副会長につきましても推薦、立候補等ございましたらご意見を願ひいたします。

【委員】

事務局一任。

【事務局】

それでは、事務局から副会長候補につきまして推薦させていただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし。)

【事務局】

副会長につきましてもは保育所長の代表者であります熱田寛明委員を推薦させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし。)

**【事務局】**

ありがとうございます。

それでは副会長につきましては、熱田委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

それでは議事を進めさせていただきます。

匝瑳市子ども・子育て会議条例第6条において会長が議長となる旨、規定されておりますので、これより先の議事につきましては齋藤会長にお願いしたいと存じます。

**【議長】**

先ほど、現行計画策定までの経緯のお話がありましたけれども、石川委員と熱田委員と私の3人は一次の時から現在まで関わらせていただいております。最初のスタートのときのようにご協力できたらなと思っておりますので、よろしくお願ひします。

では進めていきます。

議事の(2)匝瑳市子ども・子育て支援に関するアンケート調査の実施について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

**【議長】**

就学前と就学児、2つのアンケートのご説明がありましたが、就学前で委員の皆様からご質問、ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。かなり膨大なアンケートで読みこなすのが大変かなとは思いますが、気がついたことをいただければ結構です。

**【議長】**

就学前も就学児も、お住まいの地域について、ご家族の状況についてお伺いしていますが、これは計画の中には直接は関連しない内容ということでしょうか。

**【事務局】**

お住まいの地域について現行計画のところでは関わっていませんが、今後集計を進めていく上で、地域によって差があるのではというところで設定しております。ご家族の状況については、見込み量を算出するにあたって必要な設問が含まれております。

**【議長】**

一次の時にも言いましたが、集計結果、小学校区、年齢、学年と回答した者の地域別の割合を出す意味があるのかなということでは確か質問したのではないかなと。

**【事務局】**

地域差があるかもしれないということで、設定をしております。

**【議長】**

実際の児童数が当然、計画の中には載っていますけれども、それよりも実際の児童数がどの程度いるのかなという、そういった方が大切なのかなというふうに。

**【事務局】**

例えば就学前の11ページに関しまして、サービスについての利用希望に関して回答していただくのですが、地域によって差があるのではというところで聞かせていた

だければ。

また、匝瑳市は市内全域を1カ所として利用量の見込みとか確保方策を立てますが、大きな市町村になりますと、地域内でも東西南北とか、区を分けて確保方策とかを立てています。全国的な調査なので、この項目があると思っけていますが、匝瑳市については全体で一つなので、あまり計画自体には反映されないかもしれないというところでは。

【議長】

委員のみなさん、何か気づいたこととか、感想とか、どうでしょうか。

【委員】

質問量が多いので、子どもがいる時には、回答できないかなという印象です。子どもが寝てからであったり、起きる前であったり、子どものいない時間に回答しようかなというアンケートです。

【議長】

答えづらいとか、そういったところがあれば。

【委員】

答えづらいというのは、そんなに。

【議長】

枝番がたくさんありますので、これ、答えたら、こちらに、あちらにという枝番がたくさんあるので、その辺は？

【委員】

でも、すぐ下を見ていけば選択肢があるので、答えづらさは感じないですね。

【委員】

私、昨日これをやってみました。就学前と就学児両方の子どもがいるので両方やってみたら、かなり時間がかかりました、数がありますね。働いて、夜の貴重な時間だと、やるのは大変だなとは思いました。

【議長】

実際にやっていただいたということですので聞かせていただきましたが、他でどうでしょうか。全体でも結構です。

【委員】

この回答をしてくれる人は、果たしてこれが全部正確に正直に出してくれるかどうかというのが問題だと思います。みんなで取り組む千葉教育会議という県の教育政策課でやっていたものに私が第1期の委員として参加していた時に、上がってきた結果を見ると、え、これ、こんなにやってる、うちの学校のほうで全然駄目だったのに、何でこんなすごいねと、みんなで、そうやって話をした経緯があり、この結果も正直にというか、これを書いたらまずいのかな、いいように書かなければいけないのかという回答が、かなりあったという話を、みんなで話し合っけて出したんだけど、そういうのはないですか。

今、みんなで取り組む千葉教育会議でやったやつの2期目が4年目に入っていると

思います。そのときの、やっぱり策定した中に、ほとんどのものが、そのまま課題として残って、そのほかに追加でもって、これも入れてもらいたい、これも入れてもらいたいというのを出した経緯があるんだけど、これ、実際前回のやつとそっくり同じなわけですか。

せっかく、この委員になっているので、前回のやつに対して、これを作る前に何かもっと付け加えるものはないのか、取り払うものはないのかというがあったら、もう少し良かったのかなとは思いますが、果たして全部が全部、正直に答えてくれるかというのと、上がってくる回答、これを見てると半分以下なんですよね。だから、そういうのも何とか考えていかないと、もったいないと思うね。せっかくアンケートの回答を上げてもらうけど、半分までいってないわけですよ。会議だって半分いなかったら成立しないので、だからそういうのを考えて、もっと回答をいっぱい上げてもらうように持っていけないものかなと。そして正確に正直にお願いしますと。まあ無記名だから、いいと思うんですけど。

#### 【議長】

回収率、前は45%ということで。

恐らく途中まで、先ほど実際にやられたら、もう現実に目の前の子どもがチョロチョロしているもので、途中まで記入したけれど、もう間に合わないからいいやということで、そのまま置かれたものとか、廃棄されちゃうとか、そういう人たちの声のほう聞きたいことがあります、なかなか思いが届かないというか。それを含んで抽出、無作為で1,000人という数でいっていると思いますが、もう少し回収率があるといいのかなとおもいます。

それに関連して、素案の原稿だと、12月という案で出ていますが、12月という時期的なものは、どうかと。暮れの世間的に忙しくなってきた。一次のときは2月に資料を見させてもらって実際、アンケートですよ。3月ぐらいになると今度、年度末になっちゃうから、なかなかやるほうも大変だということもありますけど。あとやるとしたら、こんなアンケートをやりますよというのを事前に広報あたりに掲載ですかね。無作為ですけど、いきなり来たときに、何だこれと、それも何かキャッチフレーズ、より子どもたちの幸せのためとか何とかというキャッチフレーズを作ってもらって、それでアンケートを送りますので、ぜひ子どもたちの将来のためとか何とかのためにご協力をお願いしますというようなものを載せて、これを配るといいます。広報自体を読まないことは別として。

いずれにしても設問の内容も非常に多いですので、これを削るわけにいかないとすると、そういった少しでも答えてみようかなという人の気持ちを起こさせるような、そういうものにするというのは、どうでしょうか。

#### 【委員】

回答する項目がちょっと多いかなということと、あと、最後の自由記述というのは、前回結果にはどんなものが出たのかなというのを知りたいなと思いますけど。どんな人が回答していますか。

【事務局】

申し訳ありません、手元に資料がありません。

【委員】

回答された委員さん、回答するのに時間はどのぐらいかかりましたか。

【委員】

両方やって20分ぐらいはかかりました。

【委員】

考えてたら結構時間がかかりますよね。

【委員】

20分だったら早いほうじゃないですか。

【委員】

読むだけで厳しいなと思ったから。どれに丸つけたらいいかなと思ったら、その部分になっちゃうから私、本当に早くいかないかなと思って、大変だなと思って。

【議長】

気がついたところで結構ですので、他にどうでしょうか。

【委員】

回答してくれた人に何か差し上げるじゃないけど、例えば商店街のポイントとかだけでも何ポイントサービス券みたいな。大体、主婦の方、お父さんが答える場合もあるかと思うのですが、やってくれたら、じゃ、もらうかなみたいな。

【委員】

10月に、実際選挙はありませんでしたけれども、市会議員の選挙でしたよね。それで投票日の2週間か3週間ぐらい前に選挙の塗り絵を学校だったり民生委員からだったりいただいてきていて、その塗り絵を塗って投票所に持っていくと確か何かもらえますよね。

【委員】

何か粗品があって。

【委員】

そうですね、何かありましたね、そういえば。これも、そういうふうに見えるかなと思って、塗り絵でもいいので。小学生ぐらいになったら自分から、お母さん、アンケート来てるけど出したの？なんてことは多分、言えるぐらいになるかと思うんですけど、小さい0から5歳児、まだアンケートとかわからないと思うので、塗り絵を塗って持っていけば、塗り絵を塗って持っていだけでも、ちょっとお手伝い気分にはなるんじゃないかなというふうに思うんですけども。

【委員】

これ、郵送ですよ。

【委員】

そうですね。

【委員】

児童の分だったら学校を介して返事をもらっても、それはできるかなとは思いますが、だから何とかして回収率をアップさせないと、この回収率では、ちょっと寂しすぎる。半分以上が返ってこないということは、その通信費が無駄になっているということですよね。あれ、切手貼って確か送られてきてるから、何をやってもそうなんですけど、そうやって来てるので、その切手代がもう無駄です。これだと2,000を予定してて半分いかないということは、1,000あるんでしょう。それだけでも幾らになる、封筒代で幾らになると思って考えた場合に、かなりのマイナスが出てくると思うし。だから、それを考えたら餌をまいてもいいのかなと。餌と言ったら怒られちゃうけど、まあ、そういう考えもあってもいいのかなとは思いますが。

**【議長】**

というようなアイデアなんか出されまして、検討していただくということで。

**【事務局】**

市としても今回の新しい計画を策定するにあたって、アンケート調査というのは決まっていたんですけども、そのアンケートのやり方、計画段階で郵送でやるのか、学校さんとか保育園さんに協力していただいて、配っていただいて回収してもらえば、かなり回収率が上がるだろうという案は出ましたが、全件調査は考えていませんでしたので、0歳から5歳だと全部でいうと1,400人ぐらいで、6歳から11歳で1,700人、全部で3,100人ぐらいあり、全件まではやらなくていいだろうというところがあったので、今回の郵送になりました。確かにそういうご意見もあり、全件配れば回収率がもっと高いたらという。

**【委員】**

それは家庭数じゃなくて人数ですね。

**【事務局】**

そうです、お子さんの人数ですね。

**【委員】**

家庭数にしたら、もっと減りますか。

**【事務局】**

そうですね、少し減ると思います。

**【委員】**

それを考えたら、2,000までは減らないと思うけど、その近くになるんじゃないかと思います。

**【議長】**

何らかの方法で、いろいろアイデアが出されましたので、一人でも多く回収できるような手立てとといいますか、郵送であっても何か、さっき私が言いましたけど、広報に事前に宣伝するとか。

**【事務局】**

各保育園とか小学校さんにチラシを配らせていただいて、ご協力をお願いしますというふうにはしたいと考えております。

**【委員】**

私も委員の意見に同感です。郵送だと多分、投函が面倒だという人もいるだろうし、何か特典を与えてとかという、そういうのもありますけど、あまり期待できないのかなという感じがします。

学校と幼稚園、保育園を利用して把握したら、何かまずいとか？

**【事務局】**

特にまずいというのではないかと思います。

**【委員】**

そこからもう一度考え直すというのはできないんですかね。

**【事務局】**

利用されていない方について、どう配布していくかというところの術が、やはり郵送しかないというところではあります。幼稚園・保育園で配布をすると、確かに回収率が上がるんですけども、その意見の偏りが出てしまいます。均等に配布していかないと、市全体の傾向が見づらいのかなというところがあります。

いずれにしても回収率を上げることは、引き続き考えなければいけないなというところですので、手法も含めた形で考えないといけないなとは思っています。

**【委員】**

均等にとというのは、そういう施設を使っていない方ということですね。

**【事務局】**

そのとおりです。学校の場合は、ほとんど回収されます。場合によっては100%返ってきます。保育園の場合、利用されている方の回収率は確かに上がるんですけども、例えば保育所で入ってる方が100名で、使っていない方が100名というところで、配布を100名した保育園に関して、例えば8割ぐらい返ったとして、利用しない方が現状だと40%なので40しか来なかったというところで、80と40というところの差で、保育所を利用されている方の意向を上げた結果になってしまうというところがあるので、配布を均等にやらなければいけないのかなというのは感じるところです。

**【委員】**

実際に保育所を使っていない家庭というのは、どのくらいあるんですか、匝瑳市で。そんな100もあります、実際に？何パーセントでしょう？

利用しているほうが多いので、利用していない人って、ごく少数だと思う。匝瑳市の場合にしてみたら、入りたいけど入れないとかいうのは、まずないと思うし、ただ家庭の都合でというか、ちっちゃいうちには入れないよとか、何歳からだったら入れるよというのが出てくるので、その差だと思うので、そんなには多くはないので、そっち側に対しては郵送でお願いしますよということも可能ではないんですかね。

役所で把握しているはずだから、わからないということはないと思うんです。ただ、ちょっと面倒かもしれないけど、そういうことを踏まえてもらえればいいのかと思います。

**【議長】**



今の意見、可能であれば検討していただくということで、いろいろな絡みが出てくると思っていますので。

#### 【委員】

学校の立場からすると正直、非常に扱いにくいという感じです。今、学校でも個人情報に何らかの形で関わるようなアンケートをして回収する場合には、返却用の封筒を全部つけて出します。回収する学校が、その中身の回答について介入できないような立場をとっています。学校が主体となった調査ではないので、何でこれが学校を通して来たのというような疑念が抱かれられないような出し方を、一つにはしなければいけない。回収に当たっても、非常にデリケートな内容のものを扱うことになるので、学校としては預かったものを右から左へと流すような感覚ではないものだという感じではあります。確かに回収率は格段に上がってくるのではないのかなということが予想されます。

それから、この調査の前段の部分、最初のページを見ていたんですけども、先ほど来、ご意見が出ていとおりでありますけれども、ボリュームが非常に多くて、まずこれ、3ページのところで、設問の5では希望として子どもは何人欲しいか、ここまではギリギリ、自分は答えられるんですけども、設問の6で、もう一人以上の子どもを産みたいと思うかという聞かれ方をすると、これは男としては答えにくいなというふうに思います。何人欲しいかまでは答えられるけれども、何人産みたいか、もう一人産みたいですかということについては答えにくいんじゃないかなと。だから、この設問までぶつかったところで、そういうことで、これはあなたの調査だということで、奥さんのほうに渡すのが、結果的にあるんじゃないかなというふうに思いました。

それから、このルールについて私、本当に恥ずかしいんですけども、知識が非常に浅いものですからなんですが、7ページ、今見ているのは就学前の調査のほうですけども、7ページの育児休業を取らなかった理由というのは、細かい話で大変恐縮なんですが、その理由の14番目に、産前産後の休暇を取得できることを知らなかったと。産前産後の休暇を取得できることを知らなかったことが育児休業を取らなかった理由に当たるのかどうかというのが、これは、ちょっと自分の感覚で、よくわかりませんでした。

それから、同じページだったので、本当につまらない話ですけども、13の枝のうちの育児休業を取った、多分これ、取った後ですよ。それがあったかなというふうに思いました。

このボリュームを、もう少しスリム化できないかなというようなことで、ネットアンケートとかであれば多分、ここでイエスで回答したら、こっちへ落ちていって、そこへ落ちていったところで答えると、またこっちへ深いところに入っていったことができるんでしょうけれども、平べったい感じでいくと、これだけのボリュームになっちゃうんだなというようなことで、もう少し、せめてコアな部分の設問について、ペーパー1枚までで全部答えられて、そこからもう少し深いところを聞きたいん

だということについては、そこから深いところに入っていった答えられるような、何か階層が幾つかあるような、そんなことでないのかなというようなことも考えたらいいのかなと思いました。

**【議長】**

アンケートの内容についても、いろいろ話ありましたけど、他にどうでしょうか。3ページの今、6-1のどのような環境が整えば、もう一人子どもを産みたいと思いますか。これ、一つ丸ですけども、一つというより複数にまたがるんじゃないかなと、そのように思いますけど。

それと、この封筒には、一番前にお子さんは封筒に書かれているもののお子さんについてご回答くださいと書かれているんですけども、アンケートの中に、やっぱり3ページあたりのところに、そういったものもゴシックか何かで入れといたほうが親切かなというふうに。細かいことですけど。

それと、就学児童のアンケートの9ページのところ、これは抜けちゃったのか、要らないのか、14-7の4番目のところですけど、父母とも働いていて利用したいがに空きがない、「に」という、その前に入るのかなという。抜けていますので、これを見直すべきかなという。

ほかにどうでしょうか。1時間たっていますので、そろそろまとめのほうに入りたいと思いますけど、どうでしょうか。

就学前児のアンケートの9ページの問16の7に、子どものほかにご自身や配偶者などの親などの介護をしなければならないというところで、ダブルケアという話でお聞きしていますけども、少子高齢化で一人で育児と親の介護、両方持たなければならないという、そういうのが現実として起きてきているんですけども、何かその辺、本市として、どの程度、そういった内容をされているのかなという。16-7のところを見ると、そういったことが、ちょっと触れられていますけども。育児と介護の同時進行というところですけども。

他にご意見等ありますでしょうか。

(意見無し。)

**【議長】**

検討していただきたい内容が、たくさんありましたけども、他に無いようですので、議事の(2)匝瑳市子ども・子育て支援に関するアンケート調査の実施についての審議を閉じたいと思います。(3)その他でありましたら。事務局。

**【事務局】**

今、本当にいろいろ貴重なご意見を伺ったわけなんですけども、アンケートの回収方法、回収率のアップということにつきましては今後、本当におっしゃるとおりだと思いますので、急にいきなり変更というのは、なかなか難しい部分もあると思うんですけども、なるべく回収率が上がるような方法を再度検討していきたいというふうに考えています。

あと、この中の設問の仕方で、ちょっと違和感があるような場所というのも、もう

一度読み込みまして修正を加えていきたいと考えていますので、もし今後、そういうところで気がついたところがあれば、遠慮なくご意見をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**【議長】**

ありがとうございます。

各委員からその他でありましたら、お願いします。よろしいですか。

無いようですので、以上で議事のほうを終了したいと思います。委員の皆様には長時間にわたり議事の進行にご協力いただきまして大変ありがとうございました。

**■ 閉 会 ■**

**【事務局】**

議長におかれましては円滑な議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

本日いただきました貴重なご意見、ご要望につきましては今後の本市の子ども・子育て支援事業計画の策定にあたりまして参考にさせていただきたいと思っております。

以上をもちまして第8回匝瑳市子ども・子育て会議を終了いたします。長時間にわたり慎重なご審議をいただきまして誠にありがとうございました。